

結合組織移植による審美改善とインプラント補綴を行った1症例

所属 和歯科医院（鹿行支部）

安藤 和成

歯科治療に対する患者の要求は、発音、咀嚼などの口腔機能の回復から、より自然な修復物などの審美的な治療へとステップアップしている。

近年、健康な歯周組織の形態や自然な歯肉の色調を回復する様々な歯周形成手術法について比較検討がなされ予知性のある治療が可能になってきた。辺縁歯肉の連続性の回復と角化歯肉の獲得は審美的問題だけでなく、知覚過敏の抑制、根面カリエスの防止、プラークコントロールの優位性、口腔内の自浄作用の向上など健康な歯と歯周組織を維持するための重要な条件である。

また、欠損補綴の治療法として歯科インプラント治療が一般的になり、骨の状態が悪い条件下でも骨造成法、ショートインプラント、歯科用 CT の応用により適用範囲が拡大している。

今回は、前歯、小白歯部の歯肉退縮による審美障害、知覚過敏および臼歯部欠損のインプラント治療を希望して来院した患者の歯肉退縮に対し上皮下結合組織移植および臼歯部にインプラント抜歯即時埋入、骨状態が不良部位にインプラント傾斜埋入にて対応し良好な経過を見た1症例について報告する。

2 ページ目に連絡先・日歯生涯研修コードなど記載

連絡先：和歯科医院

住所：茨城県神栖市太田 294-10

所属：

氏名：安藤和成

会員の場合 支部名：鹿行支部

電話番号：0479-46-0418

Fax 番号：0479-46-0456

e-mail：kaz-ando@qa2.so-net.ne.jp

日歯生涯研修コード：

（4桁の数字を記入）

※日本歯科医師会会員以外の発表者の場合、空欄でご提出ください。学術委員会にてコード番号を記載します。